

牛久保史跡巡り

山本勘助ゆかりの地「牛久保史跡巡り」順路

- 1 JR牛久保駅 500m 徒歩 約6分
- 2 今川義元公墓所(大聖寺) 280m 徒歩 約3分
- 3 八幡社 640m 徒歩 約8分
- 4 山本勘助の墓(長谷寺) 500m 徒歩 約6分
- 5 牧野成定公廟 420m 徒歩 約5分
- 6 善光庵 780m 徒歩 約9分
- 7 牛久保城跡 460m 徒歩 約6分
- 8 牛久保のナギ 660m 徒歩 約8分
- 1 JR牛久保駅

コース総距離 約 **4200m** 約1時間

武田信玄の天才軍師 山本勘助ゆかりの地を巡ります。



牛久保町

お問い合わせ

豊川市商工課・豊川市観光協会
 TEL・0533-89-2140 FAX・0533-89-2125 E-mail・shoko@city.toyokawa.lg.jp
 URL・http://www.toyokawa-map.net/

牛久保史跡巡り

史跡の紹介



4 山本勘助の墓(長谷寺)

山本勘助は、明応9年(1500)八名郡賀茂村(豊橋市賀茂町)の生まれといわれ、15歳の時この地を治めていた牧野家の家臣大林勘左衛門貞次の養子となり、26歳で武者修行のため諸国へ出立するまでの若く多感な時期を牛久保で過ごしました。諸国を歴遊し武名を高め、35歳の冬に大林家に帰還したところ、勘左衛門に実子が生まれていたため、養子縁組を解き、再び歴遊の旅に出て仕官先を求めました。45歳で甲斐(山梨県)の武田信玄に仕え、幾多の戦いで名軍師とうたわれましたが、永禄4年(1561)川中島の戦いで討死しました。勘助は生前、この寺の念宗和尚と親交があり、武田信玄に仕えた際、遺髪を和尚に託しました。勘助の死を知った和尚はその死を悼み、境内にその遺髪を納めた五輪塔を建立しました。



摩利支天像を納めた厨子



摩利支天像

山本勘助襟掛本尊「摩利支天像」

山本勘助は25歳の時、高野山で武芸上達を祈願した際、霊験によってこの像を授けられ、以来襟に掛けて守り本尊としました。その後、武田信玄に仕え、合戦に出陣するにあたり、戦場で討死し、肌身離さず襟に掛けていた本像が人手に渡ることを憂い、この寺の念宗和尚に託しました。摩利支天像は、一寸三分(約5.5cm)の小像で、この寺の本堂内の厨子に安置されています。昭和47年に市の文化財に指定されています。

2 今川義元公墓所(大聖寺)

桶狭間の戦い(1560)で織田信長に討たれた義元の胴体は、家臣によりこの地まで運ばれ、この寺の境内に葬られました。隣には、一色城主、一色刑部少輔時家の墓があります。



3 八幡社

奈良時代に、仁徳天皇を祭ったのが始まりとされています。毎年4月上旬の土・日曜日には天下の奇祭として知られる「うなごうじ祭(若葉祭)」が行われます。



5 牧野成定公廟

牧野成定は、第2代牛久保城主として徳川家康に従い、吉田城攻略の際に武功をたてるなど活躍しました。廟の墓碑は貞享元年(1684)、成定の曾孫により建てられました。



6 善光庵

境内に324体の石仏や、石造三重塔、宝篋印塔、無縫塔、石塔などが並べられています。庵内には江戸時代に造られたといわれる青銅製の弥勒菩薩の仏頭が安置されています。



7 牛久保城跡

享禄2年(1529)、牧野成勝により築城されました。二重の堀をめぐらし、城を取り囲むように城下町がつくられました。元禄13年(1700)に廃城となり、現在は跡地を示す碑があります。



8 牛久保のナギ

熊野神社境内(線路南側)にあり、幹周り3.5m、高さ20mもある巨木です。この地方でこれほど大きく繁成するのは珍しく、昭和13年に国の天然記念物に指定されています。

